

○指導のねらい

絵画で自分の気持ちを表現し、個々で表現するものの違いを受け入れながら絵を完成していくことで、他者理解を促す。

○準備するもの

- ・画用紙、色鉛筆、マジック、ふりかえりシート

○教育課程、実施時期

- ・特別活動（学級活動・ホームルーム活動） ・SHR 等

○指導のポイント・留意点など

作業を通して相手の思いを受け入れることがねらいなので、模様を完成させる作業の過程では、互いに話をする事なく、静寂の中で相手の思いを想像しながら作業する時間を大切にする。模様完成後は、描いているときの気持ちを二人で話し合い、出来上がった模様がどんなふうに見えるのか、互いの思いを伝え合う。自由に作品名を考えてもよい。

展開例①

| | 教員の指示 | 指導上の留意点 |
|----|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 二人組をつくりましょう。 ○ 今日は、二人で一枚の画用紙に好きな色で自由に線か模様を描いてもらおうと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動がいつも同じペアにならないように配慮する。 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○ では、活動のルールを説明しながら例をみせます。 (ルール) ① 話をしないで活動をしましょう。 ② 自分の心に浮かんだイメージで構いません。一筆書き程度のなぐり描きでいいですよ。 ③ 相手と交代してなぐり描きを続けます。 ④ 相手が描いている間は、相手の思いを想像しながら待っていてください。 ⑤ 次に、線が交差してできた図形から形を見つけ、好きな色を塗りましょう。 ⑥ これも交代しながら塗りましょう。 ○ では、始めましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員がカードを使って例を示しながら説明をする。 ○ 絵として完成させなければならぬものではないことを伝える。 ○ 相手の思いや心に浮かんだものを想像しながら描くことを大切にさせ、相手の作業が終わるのを待って作業させる。 |

| | | |
|-----|--|--|
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ○ ここまでにしましょう。出来上がった模様を見て、どんな感じに見えるか、描いているときはどんな気持ちだったか、二人で話をしましょう。作品名を付けても構いません。 ○ 二人で作った模様はどうでしたか。それぞれの表現の仕方は違っても、相手の思いを想像し、受け入れながら出来上がった作品はどれも素敵な模様になっていると思います。「ありがとう」と声を掛け合って終わりにしましょう。 ・「ふりかえりシート」に記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品名を付けさせることで、二人の作品であることを意識させるが、作品名を付けることは強要しない。 ○ それぞれが自分の思いを表現しているが、相手の思いを想像し、受け入れながら作品を作った過程を大切にしよう伝える。 |
|-----|--|--|

展開例②

| | 教員の指示 | 指導上の留意点 |
|-------------------------|---|---|
| 導入 展開 まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアを変えて同じ活動をし、今日は、テーマも設定したいと思います。二人で「楽しい感じ」をイメージしながら作品を作ってください。 ○ ルールの確認をします。黒板を見てください。 <ul style="list-style-type: none"> ① 話をしないで活動すること ② 自由なイメージを一筆書きで表すこと ③ 相手と交代で活動すること ④ 線が交わってできた図形を色で塗ること ○ では、始めましょう。 ○ ここまでにしましょう。出来上がった模様を見て、どんな感じに見えるか、描いているときはどんな気持ちだったか、二人で話をしましょう。作品名を付けても構いません。 ○ 二人で作った模様は楽しい感じになりましたか。同じ「楽しい感じ」というテーマでも人それぞれ表現が違いますね。相手の思いを想像し、受け入れながら二人で作った作品は、楽しい感じが重なり合ってより良くなっていると思います。「ありがとう」と声を掛けあって終わりにしましょう。 ・「ふりかえりシート」に記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動がいつも同じペアにならないように配慮する。 ○ テーマを変えながら（例「優しい感じ」）、繰り返して実施できるとよい。 ○ 黒板にルールを描いた紙を貼り、確認する。 ○ 絵として完成させなければならないものではないことを伝える。 ○ 相手の思いや心に浮かんだものを想像しながら描くことを大切にさせ、相手の作業が終わるのを待って作業させる。 ○ 濃淡を考えて色を付けるとおもしろいことも伝える。 ○ 作品名を付けさせることで、二人の作品であることを意識させるが、作品名を付けることは強要しない。 ○ それぞれが自分の思いを表現しているが、相手の思いを想像し、受け入れながら作品を作った過程を大切にしよう伝える。 ○ テーマが変われば、作品の感じが変わることに気付かせる。 |

ふりかえりシート（「どんなのできるかな」）

年 組 名前 _____

1. 今日の活動をふりかえり、自分の気持ちに当てはまもの全てを選び、○をつけましょう。

話を聞いた 話を聞けなかった 思いを伝えた 思いを伝えられなかった

協力できた 協力しにくかった 安心感があった もやもやした

2. 今日の活動で気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

.....

.....